

●第2章 計画の目標

1. 成果目標

本計画における成果目標を、次のとおり設定します。

(1) 観光消費額

本市の観光による経済効果を測る目安である観光消費額については、平成28年度の推定額が274億円でしたが、平成39年度の目標額を330億円とし、平成28年度から56億円の増加を目指します。

(2) 観光客入込数

観光消費額を含めた山形市の観光振興の成果を図る指標となる観光客入込数については、平成28年度は3,063,500人でしたが、平成39年度の目標人数を3,523,000人とし、平成28年度から約15%の増加を目指します。

2. 個別参考目標

成果目標達成に向け次の項目を個別参考目標とします。

項目	平成28年度実績	目標値
蔵王エリア、山寺エリア及び市街地エリア入込数	蔵王エリア 1,214,200人	1,400,000人
	山寺エリア 797,600人	920,000人
	市街地エリア 1,051,700人	1,210,000人
祭り・イベント入込数	2,347,360人	2,700,000人
市内宿泊施設への宿泊者数	※	※
外国人宿泊者数	11,484人（蔵王温泉のみ）※	※

※平成28年度においては調査体制が整っていないため、平成30年度より宿泊施設等の協力を得て数値を把握する体制を整備します。

3. 観光基本方針

前計画の成果と課題を踏まえ、目標達成に向けた施策の柱となる基本方針を設けます。

- (1) 「山形の魅力」の戦略的な発信
- (2) 観光地の魅力向上と受入体制の整備
- (3) 周辺地域と連携した観光の推進
- (4) インバウンドの誘客推進
- (5) ニューツーリズム※の推進

※ニューツーリズム…従来の物見遊山的な観光旅行とは異なり、地域固有の資源を活用し、体験型・交流型の要素を取り入れた新しい旅行形態のこと。グリーンツーリズム、スポーツツーリズム等、活用する観光資源に応じて数種類に分類される。ニューツーリズムの推進は、これまで観光資源としては気付かれなかった地域資源の新たな活用に加え、それぞれの地域の特性を活かしやすいことから、地域活性化に繋がるものと期待されている。